

寄附研究部門

比較認知発達 (ベネッセコーポレーション)

研究部門

松沢哲郎 (兼任教授), 正高信男 (兼任教授), 伊村知子 (特定助教), 高島友子 (技術補佐員)

<研究概要>

A) チンパンジーの知覚認知能力の比較認知科学的研究

伊村知子

チンパンジーとヒトの空間認知に関する能力, 形態情報と運動情報の統合過程を直接比較する研究をおこなった.

B) ヒトとニホンザル乳児の知覚発達の比較

伊村知子

ニホンザルの0歳児を対象に, 奥行き知覚, 運動知覚の能力を注視時間を指標として検討し, その発達過程をヒトと比較した.

<研究業績>

原著論文

- 1) Shirai N, Imura T, Hattori Y, Adachi I, Ichihara S, Kanazawa S, Yamaguchi MK, Tomonaga M (2010) Asymmetric perception of radial expansion/contraction in Japanese macaque (*Macaca fuscata*) infants. *Experimental Brain Research* 202(2):319-325.
- 2) Shirai N, Imura T, Hattori Y, Adachi I, Ichihara S, Kanazawa S, Yamaguchi M.K., & Tomonaga M (2010) Asymmetric perception of radial expansion/contraction in Japanese macaque (*Macaca fuscata*) infants. *Experimental Brain Research* 202(2):319-325.
- 3) Ushitani T, Imura T, Tomonaga M (2010) Object-based attention in chimpanzees (*Pan troglodytes*). *Vision Research* 50(6):577-584.
- 4) Ushitani T, Imura T, & Tomonaga M (2010) Object-based attention in chimpanzees (*Pan troglodytes*). *Vision Research* 50(6):577-584.
- 5) 伊村知子 (2010) ヒトとその他の霊長類における奥行き知覚の初期発達. *心理学評論* 53:318-333.

編集

- 1) 伊村知子 (2010) vol.10 ベビーサイエンス p.6-25, 編集委員.

学会発表

- 1) Imura T, Adachi I, Hattori Y, Tomonaga M (2010) The perception of motion trajectory of objects from moving cast shadows in human (*Homo sapiens*) and Japanese macaque (*Macaca fuscata*) infants. *International Primatological Society XXIII Congress* (2010/09/14, Kyoto).

- 2) Imura, T (2010) Visual temporal integration on object recognition in chimpanzees and humans. 33th European Conference on Visual Perception (2010/08/23, Lausanne, Switzerland).
- 3) 伊村知子 (2010) スリット視条件下における形態情報の時間的統合過程:チンパンジーとヒトの比較. 日本基礎心理学会第29回大会 (2010/11/28, 関西学院大学).

ボノボ (林原) 研究部門

松沢哲郎 (兼任教授), 平田聡 (客員准教授), 山本真也 (特定助教)

<研究概要>

1) 野生ボノボの行動調査

松沢哲郎, 平田聡, 山本真也

コンゴ民主共和国ワンバ村にて, 野生ボノボの行動と生態を調査した. 食物分配を含む個体間関係, 過保護事例を含む母子発達, 地中のキノコ食行動などを記録し, 解析をおこなった.

2) 日本へのボノボ導入に向けた資料収集, 海外飼育ボノボ個体群の観察

平田聡, 山本真也

日本での飼育ボノボを対象にした認知研究を立ち上げる準備として, 導入手続きの調査, 海外でのボノボ飼育・実験研究の現場視察, 飼育ボノボ個体にかんする情報収集をおこなった.

3) 野生チンパンジーの行動調査

松沢哲郎, 山本真也

ギニア共和国ボッソウ村にて, 野生チンパンジーの行動と生態を調査した. 道具使用行動, 祖母による子育て協力, 集団での協力・役割分担, 植物の薬用利用行動などを記録し, 解析をおこなった.

4) 飼育チンパンジーを対象とした比較認知科学的研究

松沢哲郎, 平田聡, 山本真也

霊長類研究所の1群14個体, 林原類人猿研究センターの1群8個体のチンパンジーを対象に, タッチパネルモニターを用いた認知研究, 非拘束型アイトラッカーを用いた視線パターンの記録, 4Dエコー・事象関連電位を用いた神経生理学的研究, 出産メカニズムの解析などをおこなった.

<研究業績>

原著論文

- 1) Fukushima H, Hirata S, Ueno A, Matsuda G, Fuwa K, Sugama K, Kusunoki K, Hiraki K, Tomonaga M, Hasegawa T (2010) Neural correlates of face and object perception in an awake chimpanzee (*Pan troglodytes*) examined by scalp-surface event-related potentials. *PLoS ONE* 5:e13366.
- 2) Hirata S, Fuwa K, Sugama K, Kusunoki K, Fujita S (2010) Facial perception of conspecifics: chimpanzees (*Pan troglodytes*) attend to proper